

Co-Fusion

S-2.5-4



製品の特徴

この度はCo-Fusion 製パワーアンプをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、大切に保管して下さい。

コフュージョン「Sシリーズ」パワーアンプは、シンプルなおペレーションとすぐれたサウンドクオリティ、高いコストパフォーマンスが大きな特徴です。

クリアでパワフルなサウンド。2Uの省スペースデザイン。高い信頼性と安定性を持ち、各種イベントやライブハウス/ホール/クラブ、店舗などの音響システムとして最適です。



安全上のご注意

ご使用の前に、かならずよくお読みください。

ここに記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただくためのもので、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然にふせぐためのものです。かならず遵守してください。

この取扱説明書は、使用者がいつでも見ることができる場所に保管してください。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容について記載しています。

	- この機器は AC100V 専用です。それ以外の電源では使用しないでください。火災・感電の原因となります。 - この機器に水がはいったり、機器がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天・降雪時や海岸・水辺での使用はとくにご注意ください。 - この機器の上に水などのはいった容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中にはいたりすると、火災・感電の原因となります。 - 電源コードの上に重いものを載せないでください。コードが折れたり、キズが付くと、火災・感電の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。

	- この機器のバックパネルやカバーは、絶対に外さないでください。感電の原因となります。 - 内部点検・整備・修理が必要な場合は、販売店にご相談ください。 - 改造しないでください。火災・感電の原因となります。
	落雷のおそれがある場合は、電源スイッチを切り、コンセントから外してください。電源プラグから感電する場合がありますので、注意してください。
	断線・芯線の露出など、電源コードがいたんでいる場合、販売店に交換を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	煙や異臭、異音などの異常がある場合は、ただちに使用を停止して、コンセントから電源プラグを抜いてください。火災・感電の原因となります。



注意

「傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容について記載しています。

この欄に記載されている事項を無視してあやまった使い方をした場合、人が重軽傷を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

1.設置

- 火災・感電やケガなどを避けるため、次のような場所には設置しないでください。
 - 調理台や加湿器などの、油や湯気の当たる場所
 - 不安定な場所
 - 窓を閉め切った自動車の中や、直射日光のあたる場所などの、異常に温度が高くなる場所
 - 湿気やほこりの多い場所
- 電源コードを熱器具に近づけないこと。被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、プラグを持ってください。コードを引っ張ると、断線などが起こり、火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となる場合があります。
- 通風口をふさがないようにしてください。ふさぐと内部温度が上昇し、火災の原因となる場合があります。特に次のような使い方は避けてください
 - 機器を仰向け、横倒し、さかさまに設置する
 - 本箱や押し入れなどの、通気の悪いところに設置する
 - 布をかけたり、じゅうたんや布団の上で使用する。
- 放熱のために、壁や他機器との間には隙間を作ってください。側面では5cm、背面では10cm、天面では10cm以上が必要です。放熱が不十分な場合、火災の原因となります。
- 機器を移動する場合は、電源スイッチを切って、コンセントからプラグを抜き、接続コードをすべて外してください。コードが傷ついた場合、火災・感電の原因となります。

2.使用時

- スピーカー端子とスピーカーの接続には、スピーカーケーブルをご使用ください。それ以外のケーブルの場合、火災の原因となることがあります。
- オーディオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合、接続するすべての機器の電源を切ってください。
- このアンプは、スピーカー駆動以外の目的では使用しないでください。
- 長期間使用しない場合は、コンセントからプラグを抜いてください。
- 適切な音量で使用してください。聴覚や健康にダメージを与えることがあります。
- 付属の電源ケーブルは本機専用です。他の機器には絶対に使用しないでください。

3.使用上のご注意

携帯電話からの影響について

この機器の近くで携帯電話を使用すると、ノイズがはいることがあります。その場合は、電話を離してください。

使用後は、かならず電源スイッチを切ってください。

製品の機能は、改良のため変更されている場合があります。そのため、技術的なデータおよび製品の図面・写真が実際と異なる場合があります。

本書に記載の商品名等は、各社の商標または登録商標です。

ラックマウントについて EIA19インチ標準ラックにマウントすることができます。マウント時には放熱を第一に考え、上段下段に市販の通風パネルを取り付けてください。また、かならずリア部分も固定するようにしてください。

長くお使いいただくために

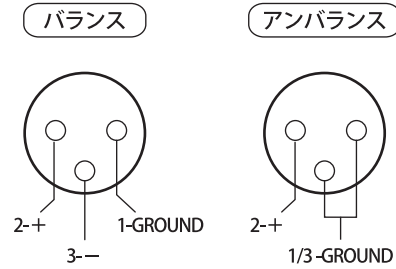
※注意 ケースを絶対に開けないでください。

変形・改造・改変をおこなわないでください。

1. 前面背面の通気口に、ほこりや汚れがたまらないようにしてください。もしたまっている場合は、必ず取り除いて通風を確保してください。
2. コネクターの破損に気をつけてください。汚れの付着を避けてください。
3. 電源ケーブルにキズが無いチェックします。キズがある場合、修理を依頼してください。
4. 清掃をおこなう場合、電源ケーブルを抜いてください。
5. 常に清潔にたもってください。外装に付着した汚れは、柔らかく起毛していない布で拭き取ってください。アルコールや溶剤は使用しないでください。
6. ユーザーによって交換できる部品はありません。
7. 修理については、販売店にご相談ください。

※仕様・外観等は改良のため、予告なく変更される場合があります。

接続端子



XLR バランスのオスメスの入力があります。

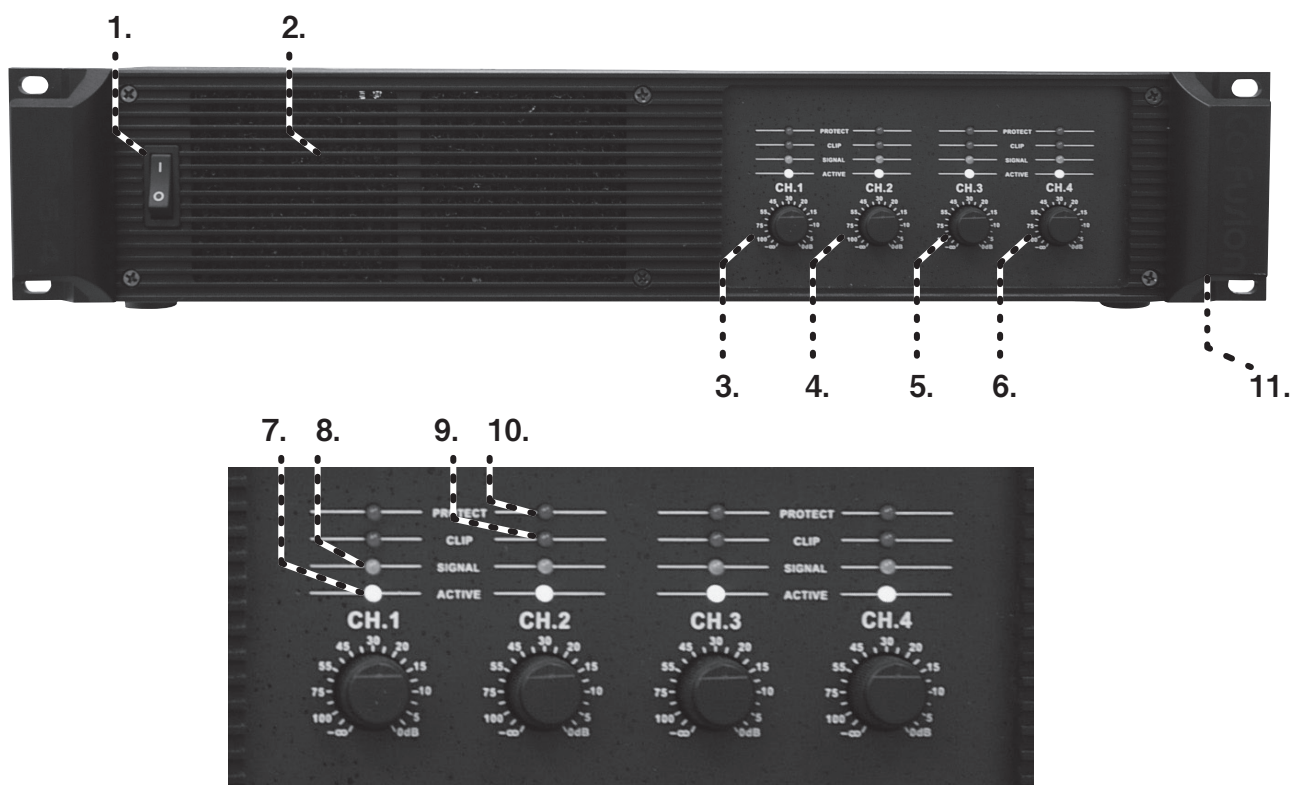
オスメスは/パラレルになっています。通常メス側に入力し、オス側は他のチャンネルや他のアンプに信号を送る場合に使用します。

もしアンバランスで入力する場合は、ピン1とピン3をショートさせたケーブルを使用してください。

スピコンは1+1-のみ使用します。

ブリッジモードで使用する場合は、ブリッジスピーカー出力に接続し、CH1と2のスピーカー出力にはなにも接続しないようにしてください。

各部の名称 フロントパネル



1. 電源スイッチ

電源のオンオフを行います。

2. エアグジット

内部と外部の風の通気口です。塞がないで下さい

3. チャンネル 1 ボリューム

4. チャンネル 2 ボリューム

5. チャンネル 3 ボリューム

6. チャンネル 4 ボリューム

7. パワーインジケータ

アンプの電源を入れるとインジケータランプが点灯します。電源 OFF の際は点灯しません。

8. シグナルインジケータ

安全に動作している場合はこのシグナルインジケータが点灯しています。

9. クリップインジケータ

クリップが点灯している場合、過大入力により音が歪んでいることを表します。入力ゲインとミキサーからの出力信号を確かめてください。

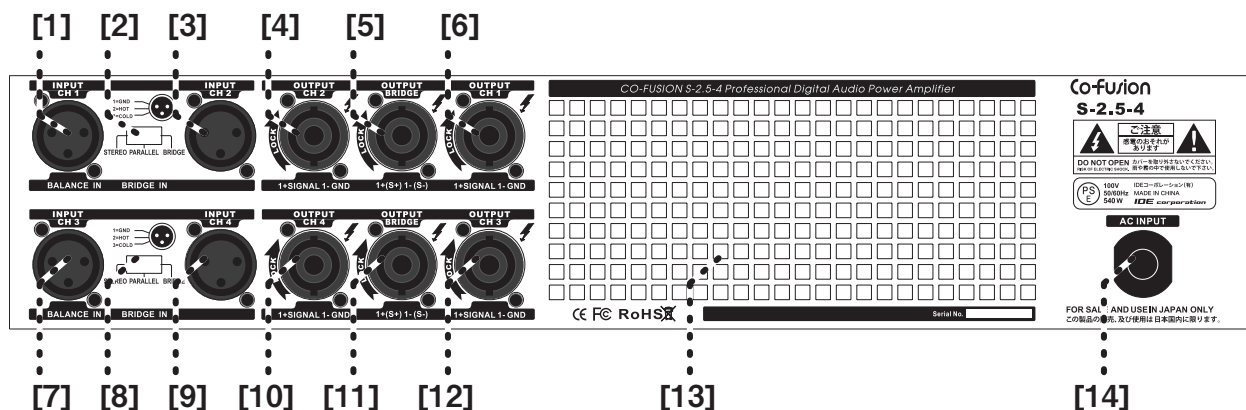
10. プロテクションインジケータ

このインジケータが点灯している場合は、パワーアンプが保護モードに入っていることを意味します。電源を切り問題を解決する必要があります。保護モードが働くのは以下の原因のいずれかによります。オーバーヒート、オーバーロード、回路のショート、DC、ソフトスタート。

11. ハンドル

機器の移動や設置の為のハンドルです。

各部の名称 リアパネル



[1] チャンネル 1 XLR 入力

この XLR 入力はバランス入力です。ミキサーの出力から接続してください。

[2]CH1,2 モードセレクター

オペレーションモードを選択することができます。

ステレオモード : 2 つの入力をチャンネル 1, 2 から出力

パラレルモード : チャンネル 1 の入力を 2 つのチャンネルに分けて出力

ブリッジモード : 1 つの入力を 1 つのチャンネルから出力

[3] チャンネル 2 XLR 入力

この XLR 入力はバランス入力です。ミキサーの出力から接続してください

[4,5,6] 出力

出力からスピーカーに接続します。

[7,8,9] チャンネル 3,4XLR 入力・モードセレクター

オペレーションモードを選択することができます。

ステレオモード : 2 つの入力をチャンネル 3, 4 から出力

パラレルモード : チャンネル 3 の入力をチャンネル 3, チャンネル 4 に分けて出力

ブリッジモード : 1 つの入力を 1 つのチャンネルから出力

[10,11,12] 出力

出力からスピーカーに接続します。

[13] エアエントランス

機器内部への空気の入口です。塞がないで下さい。

[14]AC コード

電源が 100V であることを確認してから接続してください。



オペレーションモード

用途に応じてモードセレクターで選択することができます。

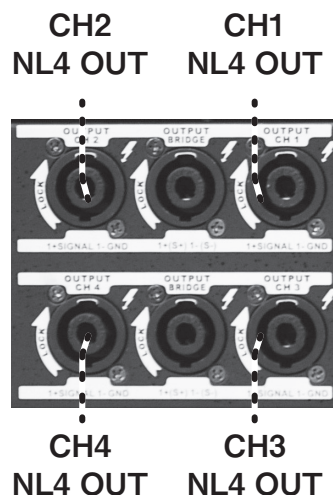
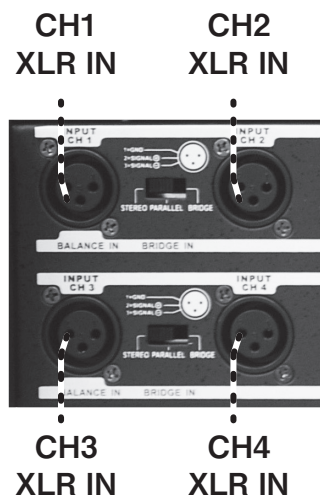
ステレオモード:2つの入力をチャンネル1,2又は3,4から出力

パラレルモード:1つのチャンネル入力を2つのチャンネルに分けて出力

ブリッジモード:1つの入力を1つのチャンネルから出力

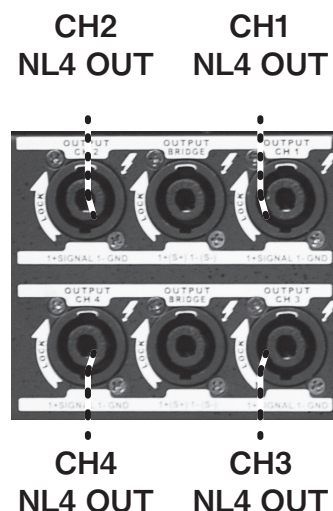
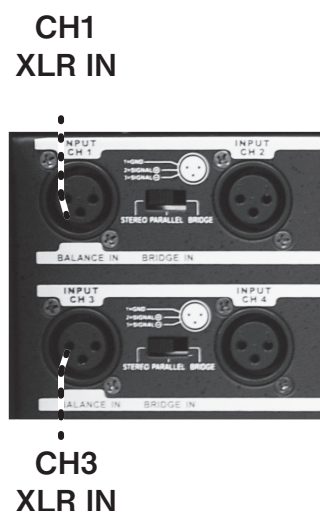
ステレオ接続

Ch1とCh2を使用し、モード切替スイッチをステレオに合わせます。Ch1とCh2のスピーカー出力に接続します。各Ch 2Ω以上のスピーカーシステムを接続してください。



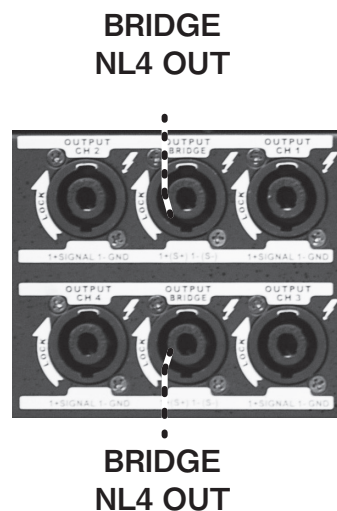
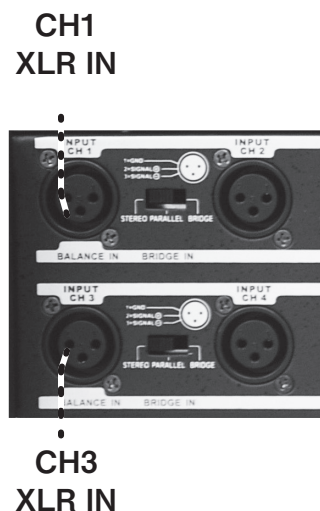
パラレル接続

Ch1の入力を使用し、モード切替スイッチをパラレルに合わせます。Ch1とCh2のスピーカー出力に接続します。Ch1のゲインコントロールで音量を調節します。各Ch 2Ω以上のスピーカーシステムを接続してください。
※4台を個別にボリュームコントロールすることはできません



ブリッジ接続

Ch1(Ch3)の入力のみが有効になります。モード切替スイッチをブリッジに合わせます。Ch1(Ch3)のゲインコントロールで音量を調節します。ブリッジスピーカー出力に接続します。かならず4Ω以上のスピーカーシステムを接続してください。ブリッジ出力以外にはなにも接続しないでください。





スペック

MODEL	S-2.5-4
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	540W
8 Ωステレオ	4 x 200W
4 Ωステレオ	4 x 280W
8 Ω BTL	560W
周波数特性	20Hz-20kHz ± 0.5dB(8 Ω 1W)
S/N 比	>95dB
スルーレート	32V/u S
ダンピングファクター	>200 8 Ω以下
入力感度	1V/1kHz
高さ	2U
重量	10.2kg
寸法	H88 x W485 x D394 mm

この取扱説明書は、IDE コーポレーション有限公司が制作しています。

発売元：IDE コーポレーション有限公司

〒530-0015 大阪市北区中崎西 1-1-24 / TEL06-6630-3990

修理・サポートは販売店までご相談下さい。